

第 124 回 金融商品専門委員会議事概要

I. 日 時 平成 30 年 2 月 26 日 (月) 13 時 ~ 15 時

II. 場 所 財務会計基準機構 会議室

III. 議 題

- 日本基準を国際的に整合性のあるものとするための取組み(公正価値測定に関するガイダンス及び開示)

IV. 議事概要

川西ディレクター、石下専門研究員及び中久木専門研究員より、以下の事項について説明がなされ、審議が行われた。

- (1) 金融商品の公正価値測定に関するガイダンス及び開示における以下の事項を対象として実施した財務諸表利用者に対するアウトリーチの結果の概要

IFRS 第 13 号「公正価値測定」に基づくレベル別開示の個々の項目の有用性

- (2) 以下の企業を対象とした金融商品のレベル別情報の開示状況に関する分析

我が国における IFRS 任意適用企業

海外の IFRS 適用企業

- (3) IFRS 第 9 号「金融商品」を日本基準に取り入れた場合の金融商品の公正価値測定に関する検討への影響

- (4) 金融商品の公正価値測定に関するガイダンス及び開示について国際的な会計基準と整合性を図ることに対する今後の進め方の検討

国際的な会計基準との整合性を図る取組みに着手することの要否

国際的な会計基準と整合性を図る場合の今後の進め方

以 上